



## 親と子どもたちに望むこと

P T A 副会長 吾 郷 孝 博

私は仕事柄子供と接する機会が多く、いろいろな子供と話をします。そして気になっているのが最近では打たれ弱い子供が多くなってきているということです。普通だったら注意された事に対して素直に受け入れられるでしょうが、打たれ弱い子供は同じ事を注意されると、自分自身がそんな事で何故注意されてしまうのだろう、自分はそんなにできないのかという様にマイナス思考全開になってしまいます。ただそれだけではない。今の子供は言葉の重さも知らない。そして知っている言葉が明らかに少ないと思う。

まず言い合いの場になると、自分が知っている言葉を並べて、言葉の返しがいきづまってしまうと、暴言・暴力に変わってしまう。あげくのはてには何もなかったかの様にその場の会話を強制終了してしまう。子供は自分の言いたい事を少ない言葉で言うため、すべてを伝えている訳でもないのに、当然自分の言い分が通らないのでストレスもたまってしまいます。そして結果が暴力・暴言になってしまいます。本当に残念なことですね。今の子供達は《すぐにきれる》というレッテルをはられている。殺人などの低年齢化が世間のあちこちでおきている。言葉の暴力というのを認識していないこともまた現実。

では子供が悪いのか？いやそうじゃない。子供の親が悪いんだよ。成長期も重なり、自分達と変わらなくなる子供達。体も大きくなり、態度も大きくなり、怖さもプラスし、そうなるくと親が望むことはただひとつだけ。今の子供の最大の武器《きれる》が出ないこと。親はそのためにどうするかというと、まず子供の顔色をうかがい、子供の言動をうかがう、そして注意をせずに、親のする最大の防御《そがい》をしてしまう。我が子なのに腫れものにでもさわるように親自身何もなかったかのようにそがいしてしまう。双方が最悪の戦いですよね。そのようにならないために親ができる事があります。

『子育てを放棄している父親よ、立ち上がって、母親と共に子育てと一緒に参加すべき！』

家庭の中で程良く話をし、一緒に遊び、一緒に悩み、実社会を良く知っている父親が世の中の現実を助言してあげるだけでも、子供には言葉を知り、現実を知る事ができる。そして本当の家族団らんを手に入れましょう。そんな親子に私はこの詩を送ります。

《相田みつを つまづいたおかげで》

つまづいたりころんだりしたおかげで 物事を深く考えるようになりました  
 あやまちや失敗をくり返したおかげで 少しずつだが人のやることを温かい眼で見られるようになりました  
 何回も追いつめられたおかげで 人間としての自分の弱さとだらしなさをいやというほど知りました  
 だまされたり裏切られたりしたおかげで 馬鹿正直で親切な人間の温かさも知りました  
 そして…身近な人の死に逢うたびに  
 人のいのちのはかなさといまここに生きていることの尊さを骨身にしみて味わいました  
 人のいのちの尊さを骨身にしみて味わったおかげで  
 人のいのちを本当に大切にするほんもの人間に裸で逢うことができました  
 一人のほんもの人間にめぐり逢えたおかげで  
 それが縁となり次々にたくさんのよい人達にめぐり逢うことができました  
 だからわたしのまわりにいる人達はみんなよい人ばかりなんです

「子供との生活を楽しみましょう。」

---

---

## スプーンフィーディングから自立した「学び」へ

校長 小林 邦彦

---

---

2 学期は授業の様子を廊下からのぞき見るのではなく、1 時間の授業を最初から最後までじっくり見ようと思い、教室に入ってあまり目障りにならないように（心がけつつ）、持参した椅子に座って、時には生徒の気持ちになったり、時には教えている教員の気持ちになったりしながら勉強してみた。この原稿を書いている11月末の段階で40名を超える教員の授業、それも1年から3年までのほとんどすべての教科科目の授業に結果として参加したことになった。総じてどのクラスの生徒も落ち着いて学習に取り組んでおり、私としても落ち着いて授業を参観した後、担当の教員と授業を振りかえってあれやこれやと意見交換ができた。

昨年から、学校としての重点目標の一つに「考える授業、自分の考えを表現する授業、互いに学び合う授業」を掲げている。机の前後左右2人でのペア学習、4人程度のグループ学習、そのグループでの意見をまとめてクラス全体への発表、あるいはプレゼンと南高の授業の形態も少しずつ変化してきている。基礎、基本の習得においてはこれまでの教員主導の徹底的な教え込みも必要であるが、これからの世の中で求められる課題解決能力、例えば思考力、判断力、表現力の育成には従来型の一斉教え込み授業では限界があるし、学習意欲の高まりもあまり期待できない。実際には大学入試、センター試験等においても単なる知識を求める問題だけでなく、与えられた情報の中から思考力等を問う形式へと変化してきている。そういった意味では、学習者主体の能動的な授業（アクティブ・ラーニングという語が最近よく使われる）への転換は今後の大学入試等への対応にも不可欠なものであるし、国においては、現在の大学入試センター試験に変わる新たな試験の数年後の導入の検討が始まっている。

さて、表題のスプーンフィーディングである。これは、乳幼児は自分一人では食べることができないので、食べ物をスプーンで口元まで運んで食べさせる（feed）行為のことである。スプーンフィーディングは、乳幼児の成長においては当然経験すべき段階であるが、社会学的には、「自分で食べることができるのに、甘えてしまっていつまでも食べさせてもらっている過保護で至れり尽くせりの状態」を表し、何事にも受け身で自立できない、あるいは自立しようとしないう若者について語られる時に用いられることもあるようだ。

「学び」においても、いつまでもスプーンフィーディングの状態が続いてはまずい。高校生の本分は学業ではあるが、部活動やスマホに取られる時間も少なくなく、効率的な無駄のない学習を生徒はもちろん、教える側も求める。予習プリント、まとめプリント、〇〇プリント、△プリント……。最初は口をあけて待ちながら、敷かれたレールの上を走っては行くが、少しずつスプーンフィーディングから自立した「学び」へと変えて行こう。人から与えられる「学び」から、自分の方から取りに行く「学び」を目指したいものだと思う。

## 平成26年度 P T A会務中間報告

時 期	行 事	出席者等	内 容・感想など
4月～5月初め	・1年生P T A役員選挙 →1年部P T A新役員内定 ・地区の新支部長、副支部長の選出(各地区の方法で)		・副会長1名、監事1名、生活指導委員5名、進路対策委員5名、学校施設改善委員5名、研修部員8名を依頼し、承認いただいた。
4月28日(月)	・P T A三役会〔第1回〕	P T A三役 管理職、総務主任	・地区P T A開催方針の確認。 ・新役員選出について。
5月8日(木)	・P T A役員会〔第1回〕	平成25年度P T A役員	・役員会で出た意見や質問を総会に反映させるため、一昨年度から、P T A総会の午前ではなく、事前に役員会を行う方式にしている。
5月17日(土)	・P T A総会(13:30～) ・学年P T A(15:00～) 1,2年生…学級懇談 3年生…学年全体会	全保護者 〔出席者数〕 P T A総会:211名 学年P T A:322名	・中間試験2日目に実施。平成25年度事業・決算報告、平成26年度事業計画・予算報告について。 ・出席者数は、昨年度とほぼ同じであった。
6月8日(日)	・高P連・P T A安全互助会 総会(松江)	塩冶会長 武田前会長(監事) 小林校長	・P T A安全互助会は、平成26年度末で解散し、会計を県高P連に一本化することが確認された。
6月14日(土)	・専門委員会・研修部会 (14:00～) ・新役員会(15:00～) ・懇親会(17:00～) 〔サンラボーむらくも〕	平成26年度P T A役員	・各専門委員会・研修部会において平成26年度の事業計画等を審議した後、新役員会で報告、了承いただいた。 ・県総体の結果報告、部活動加入率等の報告も行われた。
7月5日(土)	3年保護者対象 「進路講演会」(10:00～)	3年生保護者 参加者約160名 塩冶会長	・講師:江田進路指導主事 ・平成27年度入試、受験費用等について(今年度の受験に向けた内容)
7月5日(土)	2年保護者対象 「進路講演会」(13:30～)	2年生保護者 参加者約170名 森口副会長	・講師:江田進路指導主事 ・平成27年度入試、受験費用等について(来年度の受験に向けた内容)
7月11日(金)	中国・四国高P連大会(高知)	森口副会長 熊谷教頭 本間総務主任	・大会テーマ「緑の山から青い海へ」 ～夢をつないで未来へ～ (台風の影響で不参加となった)
7月12日(土)	1年保護者対象 「進路講演会」(10:00～)	1年生保護者 参加者約200名 吾郷副会長	・講師:熊谷教頭 ・平成27年度入試、受験費用等について(再来年度の受験に向けた内容)
7月16日(水) 7月27日(日)	地区P T A:7地区で開催 (隠岐は2会場)	各地区の支部長 副支部長、保護者 P T A三役 学校出席者	・全体会の後、学年別懇談を取り入れた形式で実施。 ・今年度から四中・湖南・湖東の3地区は非開催とした。全体の出席率は45.2%(前年30.6%)であった。
8月21日(木) 8月23日(土)	全国高P連大会(福井)	塩冶会長 津森教頭	・大会テーマ「教育と考福」 ～未来に引き継ぐ知と恵み～
10月15日(水)	P T A三役会〔第2回〕	P T A三役 管理職、総務部員	・4～10月のP T A行事を振り返って ・P T A会計について ほか
10月18日(土)	P T A研修旅行 ～大阪企業家ミュージアム 見学・演劇鑑賞～	研修部3年部 参加者43名	・大阪企業家ミュージアム見学 劇団四季(「ライオンキング」)観劇 →詳細は3月発行「あゆみ」に掲載
10月18日(土)	学校施設改善委員会〔第2回〕	学校施設改善委員	・普通教室のエアコン整備について ・グランド照明設備対策について
10月31日(金)	2年学年P T A(13:40～)	2年生保護者 参加者81名 森口副会長	・授業参観 ・3年次の教育課程等について ・進路講演会(講師:熊谷教頭)
11月1日(土)	3年学年P T A(10:00～)	3年生保護者 参加者131名 塩冶会長	・51期生保護者の講演(2名) ・平成27年度入試等について
11月14日(金)	1年学年P T A(13:40～)	1年生保護者 参加者118名 吾郷副会長	・授業参観 ・来年度のコース選択等について
11月22日(土)	P T A講習会 「試験前に食べる家族団欒鍋」 ～頭も身体も温まる、ごちそう鍋～	研修部1年部 参加者11名	・講師:土井小百合氏 →詳細は3月発行「あゆみ」に掲載
11月29日(土)	島根県P T A連合会 合同研修会(大田)	塩冶会長 小林校長	・大会テーマ「情報・消費社会と子ども」 ～学校・家庭・地域ぐるみで 子どもの「考える力」を育てる～

## 2 年理数科「つくば・東大研修」

11R担任 菅 あゆみ

平成26年10月8日（水）～10日（金）に、2 年生理数科39名で「つくば・東大研修」に出かけました。研修の目的は次の3点です。

- (1) つくば研究施設と東京大学の研究室での最先端の研究内容と研究設備の見学・実習を通して、科学に関する興味関心を深める。
- (2) 施設の見学、企業や大学での研修、卒業生の体験談を通じて、自己の在り方生き方についての自覚を深め、将来の進路選択を考える機会とする。
- (3) 集団行動を通じて相互理解を深めるとともに、よりよい人間関係や社会性を養う。

今年度の研修は、昨年度と研修先を大幅に変更し行いました。中でも、企業研修を取り入れたのが大きな変更点です。これは、生徒の皆さんに社会に出てからの自分の働く姿をより具体的にイメージしてもらうためです。

### 10月8日（水）1日目

#### 研修①日本科学未来館

日本科学未来館ではまずiPS細胞についての講義を受けました。iPS細胞の科学的な内容について学ぶだけでなく、再生医療の倫理的な問題についても考え、議論したことで、興味も一層深まりました。講義の後は巨大なアクアリウムに入ったり、最新のアンドロイドを見たりと各々興味のある展示を見学しました。

#### 研修②都内班別企業研修（日建設計、富士フィルム、Yahoo!JAPAN）

3 班に分かれて公共交通機関を使って移動し、都内にある大手企業3社を訪問しました。どの会社でも、様々な業種の方が集まって、ひとつの大きなものを作り上げていることを学びました。大学での勉強が将来どのような仕事に繋がるのかがわかりました。

#### 研修③先輩と語る会

夜には、宿泊ホテルに本校卒業生4名（社会人の方2名、大学生の方2名）を招いてお話を聞きました。今勉強することの意味を教えてくださいました。



▲ iPS 細胞についての講義



▲企業研修～日建設計～

## 10月9日 (木) 2日目

**研修④ JAXA筑波宇宙センター**

本物のロケットや宇宙服、宇宙飛行士になるための訓練棟などを見ることができました。さらに、宇宙飛行士以外にも多くの技術者・研究者が宇宙開発に関わっていることを学びました。

**研修⑤つくば班別企業研修（エーザイ株式会社筑波研究所、インテル株式会社つくば本社）**

筑波研究学園都市にある企業2社を訪問しました。どの企業も社員の方々がとても生き生きと働いておられたのが印象的でした。食事を摂りながら社員の方とお話もでき、とても有意義な時間となりました。

**研修⑥東京大学宇宙線研究所**

宇宙線についての講義を受けた後、重力波の実験を行いました。光を操り音を出す実験なのですが、時間を忘れるくらい実験に没頭しました。いくつかの班は見事成功し、音楽を鳴らすことができました。



▲ JAXAにて 人工衛星の模型



▲宇宙線研究所での実験の様子

## 10月10日 (金) 3日目

**研修⑦東京大学研究室班別研修（医学部、農学部、理学部）**

医学部では手術体験、農学部ではにおいや味覚についての実験、理学部では天文学の内容を数学を交えて学びました。ここではどの研究室でも『学問の粋』を超えた研究が行われていることを実感しました。



▲農学部ではにおいと味覚について学んだ



▲医学部での本物の器具を用いた手術体験

# 学 年 P T A

## ■ 1 年部

11月14日（金）に実施しました1年学年PTAには約130名の保護者の皆様の参加をいただきました。5限の授業を見ていただいた後、記念館ホールで学年主任からの近況報告に続き、教務部から文系と理系での科目選択についての説明があり、さらに進路指導部から「進路指導的立場からの文理選択と現在の大学受験について」の説明を行いました。

大学のすべての定員が現受験生総数を上まわるいわゆる『大学全入時代』といわれるようになって数年たち、進路を決めていく上での学校選びが難しい時代になっています。また、教育課程が変わって受験方式自体も毎年少しずつではありますが、複雑になってきている実感があります。そういった受験に関わる基本的な情報を、文理選択の一助にさせていただけたら大変うれしく思います。この冬休みに、ぜひとも家族で進路についての話をさせていただけたらと思います。



土江学年主任（1年部）



1年学年PTAの様子

## ■ 2 年部

10月31日（金）に2年学年PTAを開催し、約80名の保護者の方々に参加いただきました。現在の2年生の近況報告に続き、2年生から3年生になる時の教科選択の話や、熊谷教頭から2年生における進路学習の意義や、取り組みについての具体的な方法などの説明がありました。

この講演会で得られた知識、思いをもとに、高校生活、さらに将来の展望に関して、改めてわが子と話し合ってみたいという保護者の方々の感想が多かったようです。



2 年学年 P T A 熊谷教頭の講演



授業参観

### ■ 3 年部

11月1日(土)に開催された3年学年PTAには約130名の保護者の方にご参加いただきました。受験生の子どもを抱えた先輩として、51期の保護者2名(武田様、和田様)による講演会があり、保護者から見た受験という観点から、受験期ならではのエピソードや悩み、不安といったことを生の声としてお話しいただき、これから受験を迎えるご家庭にとってはとても参考になったことが多い講演会だったと思います。その後、進路指導部による「これからの受験に必要なこと」に関する話がありました。いよいよ間近に近づいた受験本番を前に、大変熱心に聞いていただけたこと深く感謝申し上げます。



3 年学年 P T A の様子



塩冶 P T A 会長

すべての学年においても、進路に関して、文理選択に関して、教科選択についてご不明な点が少しでもあれば、ぜひともご質問いただきますようお願いいたします。

## オープンハイスクール

今年度も2学期始業式後の8月21日(木)、8月22日(金)の2日間にわたって、オープンハイスクールを開催しました。1日目は旧松江市外の中学校を中心に、2日目は旧松江市内の中学校を中心に約470名の中学生と、約50名の保護者・引率担当者が参加してくださいました。

当日は希望者による食堂での昼食がとられた後、記念館ホールで行われました。校長先生のあいさつと日程説明の後、理数科3年生数名による理数科研究発表が行われました。発表の内容はかなり高度で中学生には難しかったかもしれませんが、南高理数科に入学すればこのようなレベルの高い研究ができるんだと、中学生には良い刺激になりました。

次に、それぞれ15名程度で1,2年生の授業見学や校舎見学を行うグループとホールで生徒会執行部から学校説明を受けるグループに分かれて、25分後に交替をしました。中学校とは違った雰囲気や授業や設備を見ることができ、進路選択の参考になったと思われます。

その後、放送部が各部を回って作成した部活動紹介ビデオの上映があり、中学生たちは部活動の数の多さや練習風景にくぎ付けになっていました。閉会后、希望者対象に部活動見学や寮の説明会が行われました。多くの方のご協力によって、オープンハイスクールを終えることができました。特に、放送部と生徒会執行部のみなさん、ご尽力いただきありがとうございました。



生徒会執行部の学校紹介を聞く中学生たち



理数科課題研究化学班の発表



## 1年生普通科キャリア教育関西研修

キャリア教育部 主任 織部道雄

今年で2回目となるキャリア教育関西研修が、平成26年10月7日（火）から9日（木）の2泊3日の日程で、次の(1)～(3)のような目的で実施されました。(1)施設の見学、企業や大学での研修、卒業生の体験談を通じて、自己の在り方・生き方についての自覚を深め、将来の進路選択を考える機会とする。(2)集団行動を通じて、相互理解を深めるとともに、集団の規律や秩序を守る態度を養う。(3)班別行動を通じて問題解決能力を身につけるとともに、協力しながら主体的に取り組む姿勢を養う。

第1日目（10月7日）は、各Rに分かれて、企業研修、大阪大学研修、Spring-8（大型放射光施設）での研修を行いました。

企業研修では、資生堂・武田薬品・読売新聞・キャノン・川村義肢・深喜毛織・神戸新聞・DINS堺・造幣局の中から各クラス2社ずつ見学し、働いている方の様子を見学し、お話を伺いました。



企業研修（神戸新聞）



企業研修（資生堂）



大阪大学（家島先生講義）



大阪大学（吉川先生講義）

大阪大学研修では、大学院人間科学研究科の吉川徹先生による講義演習、産業科学研究所の木村泰裕先生による体験実習、大学院工学研究科の永瀬丈嗣先生による光学電子顕微鏡の見学、教育学習支援センターの家島明彦先生による講義演習など、本校卒業生で大阪大学にお勤めの4名の先生方にお世話になりました。

Spring-8では、世界屈指の施設において行われている最先端の研究を目の当たりにして、日本の技術や研究のレベルの高さを実感しました。



Spring-8



先輩と語る会

夜には、宿泊ホテルに本校卒業生を招いて「先輩と語る会」が開かれました。大学生及び社会人の方13名から、大学生活や仕事についてのお話や高校生へのアドバイスなどを伺い、進路意識を高めることができました。

第2日目（10月8日）は、班別自主研修を行いました。6～7人で班を作り、大阪・京都・神戸などで班ごとに決定したテーマに基づいて決めた3箇所の研修先を回りました。（なお、10月30日には、学習成果をまとめてクラスで発表しました。）

第3日目（10月9日）は、1日目と同様、企業研修、大阪大学研修、Spring-8での研修を行いました。

1年生はこの研修で学んだ多くの内容を今後の文理選択を始め進路選択に生かしていくこととなります。

## 平成 26 年度 第 2 回学校施設改善委員会

10月18日（土）午前9時30分から第2回学校施設改善委員会を開催しましたので、その概要について報告します。

### 1. 協議事項

#### ①普通教室のエアコン整備について

学校から整備概要、設置方法、保護者負担、スケジュール等について提案があり、現在の保護者負担を変更することなく整備できると考えられましたので、学校の提案を了承しました。

今後は、来年2月の役員会や5月の総会で審議することになります。

#### ア) 主な整備概要

現在設置している30室の室内機（各室2機）や室外機を最新型の機器に取り替える。（エアコン数の増減はなし。）また、使用期間は平成28年度からの10年間とする。

#### イ) 設置方法

P T A が整備工事の契約を締結し、工事完了（工事費確定）後に工事費等を10年間の分割支払とすること等を内容とする契約により設置する。

#### ②安全確保の視点からのグラウンドの照明設備対策について

学校から、「他校に比べ暗いと思われる。平成23年度にサッカー場北側に増設したときと同様に県での設置は困難な状況である。日没時刻が早い時期における部活動の安全確保や充実の視点で増設についてP T Aにご支援いただけるとありがたい。今後、他校の状況の把握、増設する場合の近隣への影響、さらには経費（保護者負担）等について情報収集や検討の必要があり、今年度に結論を出すことは難しい。」と説明があり、引き続き検討いただくこととしました。

#### ③第2次学校施設改善計画について

次のとおり決定しました。

部・科名	整備内容	整備目的	金額(千円)
総務部	デジタルカメラ、ズームレンズ等	ホームページ等での情報発信の充実のため更新する。	162
進路指導部	進路指導用パソコン	3年生の保護者面談等で利用するため新たに整備する。	960
	プロジェクター	進路講演会等における説明資料や画像などを鮮明にするため更新する。	165
地歴公民科	音の音楽史	よりわかりやすい授業を行うため新たに整備する。	59
	音の世界史		
	音の地理		
理科	プロジェクター		64
	スクリーン		
音楽科	オーボエ		907
体育科	バドミントン支柱	部活動のほか授業でも使用する楽器や機材の損傷が著しいため更新する。	223
	バドミントンネット		
	支柱ハンガー		
合計			2,540

### 2. 校内視察

耐震対策が検討課題となっている記念館、また撤去費用が課題となっている旧部室棟をはじめ、特別教室や進路指導室などの校舎内、体育館、グラウンドなどを約1時間視察しました。



第1校務センターでの協議の様子



校内視察（旧部室棟）の様子